

# 平成29年度 はじめの一步保育園事業計画書

## 1 保育所の運営方針と保育目標

集団での生活を中心にたくさんの友達と一緒に生活する場、大家族のようなあったかい雰囲気  
大事にしていきたい。そして、自然に囲まれた施設を活かし、五感を通じて「育ちあいの場づくり」  
を基本理念として運営していきたいと思ひます。

### ・・・保育指針・・・

- 一人ひとりの気持ちを受けとめる保育
- あったかーいふれあい保育
- 子どもとの共有・共感を大切にする保育
- 楽しさと興味を育む保育

### ・・・子どもたちの保育目標・・・

- 優しい心 相手の気持ちを思いやることの出来る仲間づくりをする。
- 強い心 自分で考え、見通しをもち、行動する、生きる力を育てる。
- 豊かな心 美しいものを見て、感動する心と豊かな発想と想像力を養う。

### ・・・はじめの一步保育園で大切にしたいあれこれ・・・

#### 【自然と友達になろう】

自然がおりなす四季を五感を通じて楽しんでほしいな。

#### 【自分の手で野菜を育てよう】

自分で育てた野菜が給食で出てきたらうれしいね。

#### 【おじいちゃん・おばあちゃんと仲良しになろう】

老人ホームを訪問したり、ご招待して交流をもとうね。

#### 【英語でごあいさつ】

生活の中で、外人さんと英語で挨拶を交わしてみよう。一緒に遊ぼう！

#### 【木工遊びを楽しもう】

のこぎりや釘、カナヅチを使って木工遊びを楽しもう。

#### 【音楽遊びを楽しもう】

音楽が大好きな先生との関わりの中で、歌を楽しみ音楽を聴き音を奏でよう。

#### 【運動遊びを楽しもう】

体は日々成長し、出来ることが増えてくる。からだをいっぱい使って遊ぼう。

#### 【異年齢保育で楽しもう】

幼児クラスの3歳・4歳・5歳のお友だちと一緒に遊ぼう。

### ・・・学年目標・・・

- 0歳児・・・生理的欲求を満たした生活リズムをつかむ。
- 1歳児・・・未知の興味をもち活発になる。
- 2歳児・・・行動範囲が広がり探索活動が盛んになる。
- 3歳児・・・象徴機能や観察力を発揮する。
- 4歳児・・・感情が豊かになり我慢できるようになる。
- 5歳児・・・集団生活の中で意欲的に活動し新しい知識や能力を獲得する。

# 事業計画

## 2 開所日及び開所時間

事業	開所日	開所時間
通常保育	月・火・水・木・金・土	7:00~20:00
一時保育	月・火・水・木・金	8:30~17:30

## 3 入所児童数 平成29年4月1日現在

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
定員	6人	16人	17人	17人	17人	17人	90人
実員	9人	16人	18人	18人	18人	18人	97人

## 4 職員配置状況 平成29年4月1日現在

	園長	保育士	看護師	栄養士	調理員	その他	合計
常勤	1人	19人	1人	1人	2人	2人	26人
非常勤		8人			2人	4人	14人
合計	1人	27人	1人	1人	4人	6人	40人

5 特別保育事業の事業計画

(1) 延長保育の事業計画

利用児童数の見込み・職員配置の考え方				
	18:00～ 19:00	19:00～ 20:00		職員配置
0歳児	0名	0名		0歳児 担任
1歳児	2名	1名	15名	常勤 1名 パート2名
2歳児	3名	0名		
3歳児	6名	0名		
4歳児	2名	0名		
5歳児	2名	0名		

間食の提供について  
川崎市のメニューにより提供  
延長の補食は、月水木はおにぎり、火金土はバナナを提供

(2) 障害児保育の事業計画

学年	人数	職員配置
4歳児	2名	常勤保育士 1名 常勤保育士 2名

\* 特徴・苦手としている所・長所としているところを把握し、その子にあった援助をしていく。

\* 健常児の協力・関わりが大きな影響力に繋がることを考え配慮に心がける。  
健常児が障害児への理解に繋がるような配慮を心がける。  
障害児への温かい言葉かけ、接し方ができるような指導、配慮に心がける。

\* 健常児も障害児も共遊・共有することにより、「ともに育つ」ものである。

\* 保護者との連絡を密に心がける。

- ・出来たこと・プラス面等を伝え、一緒に喜ぶことを大事にする。
- ・出来ないこと等マイナス面は、出来ない・困ったの報告ではなく、保護者と一緒に方向性を考えていくようにする。

\* 障害児だと決めつけるのではなく、人間は皆いろいろな個性を持っている。その個性を大事にしながら、本児なりの「生きる力」が身につくように援助する。

\* 専門機関との連携、交流に心がける。

- \* 成長記録・配慮記録・他児との関わり記録等に心がけ活用していく。
- \* 教職員が共通の関わりが大事になるので、報告・連絡・相談に心がける。

(3) 一時保育の事業計画

◎利用登録の方法

添付書類 一時保育「ポッケ保育しおり」を参照

◎利用児童数の見込み

一日に12人前後の受け入れ予定

◎職員配置の考え方

常勤保育士 1名 非常勤保育士 3名

\* その日の参加人数、参加年齢によって職員配置、人数を調整していく。

◎保育内容の計画について

\* 天気の良い日は、一日一回は戸外遊びを楽しむ。施設内を散策し楽しむ。

《自然と友だちになろう》を中心にした保育展開を充実

\* 自然がおりなす四季を五感を通じて楽しもう。

- ・草花がお話ししてくれる。
- ・木・葉っぱがお話ししてくれる。
- ・昆虫類が楽しさを教えてくれる。
- ・色とりどりの景色が幸せをプレゼントしてくれる。

\* 雨天時は、絵を描いたり、制作を楽しもう。

室内でできる、リズム遊び、運動遊びを楽しもう。

\* 参加人数が少ない場合は、2歳児・幼児クラスと一緒に交流をもとう。

\* 着替え・食事・午睡等、生活マナーを身につけよう。

(4) 休日保育の事業計画

計画していません。

(5) 地域子育て支援センター事業の事業計画

計画していません。

## 6 年間行事予定

月	行事等の名称	対象者・参加予定人数等
4月	入園式 保護者会 子どもの日の集い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入園児と保護者、土曜保育の園児が参加。</li> <li>・各担任と保護者が集い、報告・懇談をもつ。</li> <li>・全園児が集まり、子どもの日の祝いをする。</li> </ul>
5月	音楽鑑賞会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の親子・地域の方々を招いて、在園児と共に音楽鑑賞を楽しむ。</li> </ul>
6月	交通安全教室  保育参観週（幼児） ありがとうの日  おひさま一歩の会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児がホールに集まり、交通指導員よりの講話・ビデオ視聴・5歳児対象歩行練習。</li> <li>・幼児クラスの保護者が保育の様子を見学</li> <li>・全園児が保護者への手作りプレゼント渡しセレモニー。</li> <li>・保護者主催在園児の親子交流会</li> </ul>
7月	お泊り会 七夕の集い 夏まつり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年長児が保育園に一泊し、寝食を共にする。</li> <li>・全園児・地域の方と一緒に七夕を楽しむ。</li> <li>・全園児・家族・地域の方との夏の集い。</li> </ul>
8月		
9月	敬老の日の集い 遠足（乳児）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全園児・地域の方との交流ホールでの集い。</li> <li>・乳児クラスが園外に出て楽しむ。</li> </ul>
10月	一歩フェスティバル（運動会） お月見集会 保育参観週（乳児）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全園児・家族・地域・未就児と共に楽しむ。</li> <li>・全園児・未就園児を招きお月見を楽しむ。</li> <li>・乳児の保護者が生活・保育の様子を見学。</li> </ul>
11月	ふれあいの日 遠足（幼児）	全園児・祖父母・地域・未就児との伝承遊び。幼児クラスが、弁当持参での園外活動。
12月	クリスマス会 おもちつき	全園児・地域・未就児が集まりクリスマス。 全園児・地域・未就児が日でもちつき大会。
1月	お楽しみ会 どんど焼き	全園児の表現発表。親が子の成長を楽しむ。 全園児・地域の方が集い無病息災を願う。
2月	節分の集い	全園児が集い、節分を知り豆まき体験。
3月	ひなまつりの集い 卒園式	全園児ホールに集い、ひなまつりを楽しむ。 卒園児・4歳児・保護者・来賓で卒園を祝う。
毎月	誕生会 運動遊び 英語で遊ぼう。	全園児と保育士が集まり、誕生児を祝う。 在園児が運動を楽しむ。 在園児が外人講師と共に一緒に楽しむ。

## 7 地域の子育て支援に対する計画

**園庭開放** 毎週土曜日の9:00~11:00

**育児相談** 子どもと一緒に遊びながら雑談、情報交換を兼ねながら育児相談  
日時を指定しての育児相談（いつでもお問合せ下さい。）

○元野保育室交流・・・保育の受け入れと、園行事を通し交流を楽しんでいく。

○ホームページや掲示板にて、地域・未就児の方々に園行事の参加を呼びかけ、在園児との交流を楽しむ。

### **世代間交流等事業**

地域の方や園児の祖父母・未就児をご招待し、年齢の異なる方々との交流

\* 行事集会を一緒に楽しむ

（七夕の集い お月見の集い クリスマス会 ひなまつり集会）

\* 昔ながらの遊びを近隣の方や祖父母の方々に教えて頂きながら、世代を超えて皆で楽しもう。（ふれあいの日）

### **異年齢児交流等事業**

\* 地域の未就児をご招待し、園児の親子と共にコンサートを楽しむ。

（音楽会 クリスマスファミリーコンサート）

\* 地域の未就児、近隣の方、園児と共に、演劇を楽しもう。（観劇会）

### **育児講座・育児と仕事両立支援事業**

\* 未就園児親子同士の集いの中からママ友をみつけよう。

\* 共通の子育て悩みを先輩ママ、先輩保育士にアドバイスをもらおう。

\* 育児書紹介と皆で学びあおう。

### **保育所体験特別事業**

\* 園庭開放により近隣親子との交流

\* 園行事に参加し、一緒に体験し、楽しさを共有。

（夏祭り・運動会・おもちつき）

## 8 保護者との連携の計画

### ○連絡帳の活用

- ・乳児クラス…毎日の生活記録などから家庭や保育園の様子を密に連絡を取り、子育てを共有していく。共通理解へとつなげる。
- ・幼児クラス…クラス活動は、公開日誌としてクラス前に表示し、保護者との連携に努める。

希望者には、個別のノート活用を通し連絡を密にしていく。

### ○登園・登園時の保護者との連携

- ・各クラスでの引き継ぎ簿を活用して、保護者に伝え漏れがないように全職員で周知し、送迎時の不安を持たせないようにしていく。

### ○クラス懇談会と進級説明会 開催

- ・4月22日…土曜日の午前中に、乳児と幼児クラス懇談会を時間差で行う。
- ・2月・3月…園長による説明会と、次年度の進級説明会を兼ねたクラス懇談会。

### ○公開保育

- ・幼児クラス6月5日（月）～6月28日（水）  
（3・4・5歳児）…保護者も保育に参加して給食も試食。
- ・乳児クラス10月23日（月）～11月17日（金）  
（0～2歳児）…我が子に見つからないように見学していただく。  
保育参加後は個人面談を行い、保護者と共通理解を持つ。

### ○個人面談

希望があれば随時行い個別の連携をとり、保護者の不安を解消していく。

### ○お知らせ・掲示板

- ・園だより（毎月1回）
- ・クラスだより（毎月1回）
- ・保健だより（毎月1回）
- ・給食だより・献立表（毎月1回）
- ・行事のお知らせは随時発行
- ・発行した配布物は、玄関ホールに掲示し閲覧できるように保管。
- ・行政からのお知らせは掲示板に貼付し情報公開に努める。

### ○保育中のスライドショー

- ・一日の保育活動の写真を玄関のテレビ映像として流し、親子又は先生と保護者とのコミュニケーションを兼ね一日の保育の様子を伝えていく。

### ○父母会

- ・保護者が立ち上げた「おひさまいっぽ」の父母会に協力しながら、保護者同士の繋がりや職員たちとのかかわりを深めていく。

## 9 第三者評価に対する取組計画（もしくはサービス向上に向けた取組計画）

平成28年度に第三者評価を受信。その評価結果を元に、改善点、サービス向上に向けた取り組みを計画する。

○豊かな自然環境を生かした保育と食育食農活動の展開

自然の中で五感を感じ主体性の向上と体力作りに向けた保育計画・展開。

○保育計画の作成や振り返りの体制・園内・園外研修の取り組み

職員が意見交換したり、上司のアドバイスを受け入れる体制、質の高い保育が提供できる環境づくり、勉強会。

○中長期計画の策定

保育園を取り巻く社会情勢の変化の中で、限られた経営資源のもと職員一体となって年度毎に成果を確認し中長期計画を作成していく。

○マニュアルを整備し、「マニュアル集」としての体系立てたものにまとめ、纏めて一層活用しやすいものを作成していく。

## 10 セルフモニタリングの実施計画

○自己評価表を作成・実施

① 前期に自己評価表にて自己診断を実施

② 自己を振り返り、見つめなおし、自己向上に繋がるように自己評価を活かす。

③ 後期に自己評価表にて再度自己診断

ある目標に対して、その経過を記録し、客観的に自分自身の行いを評価していく。変化を記録することで、今、自分がどの状況かを認識する。成果に繋がっていく様子や、行動を継続できていることそのものが視覚化されることで、更なる行動継続への動機に繋がると考え、自信につながり、自己効力感を高め行動変容を起こす手法と考えます。

## 11 苦情対応・解決の取組計画

○「苦情解決システム」を作成し玄関ロビーに掲示。

○ 保育園への要望・苦情申し出は、第三委員に直接申し出ることが出来ることの手紙を配布する。

○ 苦情・相談事があった場合は、直ちに園長に報告し記録に残すことを職員で周知して解決策に努める。

○「意見箱」の保護者の声を参考にし、回答は保護者会や園だよりで知らせてく。



## 12 職員の研修計画

<p>○園内研修</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・園長と担当者が研修内容や日程など取り決め計画を立て、質の良い保育とより良い環境を作り上げていくように、研修を重ね共通理解していく研修の場を設けていく。（別紙資料有り）</li></ul> <p>○園外研修</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・施設に研修情報が届いたときは、職員に掲示し参加を呼び掛け、業務の中で必要な知識や技術を習得できる体制を組み、職員の自己研鑽が図られるよう外部の研修機会に努める。</li><li>・今後、キャリアアップに繋がる研修分野に受講できるように調整をする。（別紙資料有り）</li></ul> <p>※研修終了後、研修記録を提出し全職員が研修内容を保育に活かせるように回覧し共有して、園内研修に繋げていく。</p> <p style="text-align: right;">計画一覧表を添付</p>
---

## 13 職員の労働条件・労働環境保持のための取組計画

- \* 行政からの確かなキャリアアップの通達内容によっては、給与規定の見直しの必要性を感じ、職員の働きやすい環境を考える。
- \* 行事等の取り組み頑張りに行事手当の支給。
- \* 事務仕事時間がとれるようなシフト計画の見直し。
- \* 職員の頑張りへの感謝からリフレッシュにつなげてほしいと思い、7月・8月9月の中で常勤に3日、長期パートに1回の夏休み休暇を与える。

## 14 児童・職員の健康管理計画

<p>○園児の健康管理</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・登園時の視診と検温。看護師による毎朝の見回りを行なう。</li><li>・最近流行っている病気を掲示板でお知らせし、病時・病後時保育室の案内の掲示をする。</li><li>・感染症などの二次感染予防に努める。（嘔吐処理方法講習など）</li></ul> <p>○保健年間行事 実施回数</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・乳児・内科検診…0・1歳児（毎月1回） 2歳児以上（年4～5回）</li><li>・視聴覚検査…4歳児（年1回）</li><li>・歯科検診……全園児（年1回 5月31日）</li><li>・身体測定を毎月行い、「すこやか手帳」に記録して保護者にお知らせする。</li></ul> <p>○職員の健康管理</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・年一回の健康診断を行い、職員の健康状態を把握する。</li></ul>
--

## 15 安全安心に対する取組計画

### (1) 事故の防止策と対応策の計画

- ・事故防止対策マニュアルの作成と周知徹底。
- ・事故報告書・ヒヤリハットを活用して、事例を分析して再発防止に努める。
- ・AEDを使用して、取扱いの講習会を行う。
- ・養護による講習会（嘔吐処理・救命講習）
- ・保育室内と室外の安全点検チェックを毎月行う。

### (2) 不審者対策の計画

#### (1) 不審者対策の取り組み

- ・不審者対策訓練（年1～2回）
  - いろいろな状況を想定しての訓練を行う。
  - 訓練と解っている中での計画的訓練と抜き打ち訓練を行う。
  - 園内に備えられている通報装置の手順等の確認を時々に行う。
- ・110番への通報装置
- ・警備会社（セコム）への通報装置
- ・110番通報の実地訓練

別紙：不審者対応マニュアル

#### 共通理解

- ① 響きある挨拶を交わそう。不審者の発見はそこにも。そして抑制にも。門を入ったその時から、保護者なら、園関係者であればもちろん、園内ですれ違う方と挨拶を交わそう。  
「おはようございます」「こんにちは」「お疲れさま」「さようなら」
- ② ハッ、と思ったら合図を。まず誰かに、そして事務室へ。
- ③ 園に来園中の保護者の方の目・声・姿は巡回にもなる。意識することそれは最大の効果。
- ④ 忘れてはならない『なごやかな明るい保育園』
- ⑤ 意識は、公園、道路、あらゆる場に必要。
- ⑥ こどもを護る。交通事故からも誘拐からも。心の病も。
- ⑦ お迎えは、必ず保護者が引き取る。小学生の兄弟には引き渡さない。
- ⑧ 門を出る時、道路を歩く時は、必ず保護者と手をつなぐ。

【 隣のあの子も私のあたたかい目 】 それで共通理解。

#### 保育園としての対策

- \* 玄関は、指紋認証での開閉になる。保護者より申し込みのあった送り迎え者の方だけに、指紋認証登録をしてもらう。
- \* 110番通報装置を職員室に設置。  
非常事態の時、ボタンひとつで警察が出動してくれる。
- \* 園内数カ所に防犯カメラを設置し常に記録されその映像は職員室に流れる。
- \* 各保育室に非常を知らせる装置を設置。警備会社にも連絡がいく。
- \* 保育室にインターフォンがあり、どの部屋とも、職員室とも連絡がとれるようにしている。

- \* 火災等非常放送が流れるようになっている。
- \* 事務職員・フリー職員が時々、見回るタイムをつくるように心がける。保護者の皆様も心がけてくださると最高の手立てとなる。
- \* ベルが鳴ったり、異常の知らせが入った際は、「布おむつが届きました」と放送を入れる。全職員、周囲を見回し、安全確認するとともに、子ども達を護る意識を高める。保護者にもそうした放送に出会った際は、ご協力をお願いする。
- \* 職員は、時折職員会議の中で「安全管理の取り組み」の再確認、講習や訓練を受ける。

(3) 防火・防災対策の計画

**防災対策の取り組み**

- ・ 震災時に備え、引き取り訓練と災害伝言ダイヤルの体験練習を行う。  
(5月15日・6月1日)
- ・ 年1回の総合訓練を行う。
- ・ 避難訓練は毎月行い、反省会をして次回に活かす。
- ・ 年2回の消防用設備点検を行う。
- ・ 防災倉庫と避難リュックの点検を定期的に行う。
- ・ 平成29年度の消火避難訓練計画書を作成し、毎月訓練を行う。  
別紙年間計画表有り。
- ・ 職員の訓練も入れていく。  
(救急車・警察へ・セコムへの連絡の仕方・要請後の配慮・AEDの使い方  
応急処置・消火器の使い方)

16 虐待防止の取組計画

- 虐待防止マニュアルを作成し、虐待を疑われる事例があった場合は園長に報告し、守秘義務に気をつけ対応していく。
- 怪我の有無など、沐浴や着脱時にチェックをして疑わしいことがあった場合は、記録として残す。

17 給食に対する取組計画

**○ 子どもの状況に応じた給食提供 『よく噛んで楽しく食べよう』**

- ・ 川崎市の献立メニューにて給食の提供とする。カレーの時は、季節の野菜を用いて園独自のカレー作りをして、園児と共に食育を楽しむ。
- ・ 見た目に美しく、食べておいしい食事作りに心がける。
- ・ 幼児食のサンプルを玄関に展示し、離乳食のサンプルは保育室に展示する。
- ・ 離乳食会議と給食会議を毎月行う。
- ・ 献立表・給食だよりを発行（毎月発行・栄養情報等も記載）
- ・ 食育として、子どもたちが畑で育てた食材や果物を、調理し給食で頂く。

### 《離乳食について》

- ＊個人差を考え、無理のない離乳を進めていく。
- ＊1歳児の食事に関しては、離乳食（完了食）後、間もないので7ヶ月までは、そのまま離乳食（完了食）を準備し、さらに充実させていく。
- ＊アレルギー児の「食物除去」も、それぞれの子どもの症状により対応し、必要により除去解除できるようにしていく。

### 《離乳食の進め方》

- ・食べやすい形（子どもの状態にふさわしい形で与える。
- ・手づかみ食べを十分にし、噛める子どもに育てる。
- ・栄養と食品のバランスを考えて、ある程度進んできたら、穀類・タンパク質類・野菜の三種類を合わせる。
- ・卵については、中期食まで使用しない献立にする。
  - ・調味料をできるだけ使わず、素材の味を生かして調理する。

### 《食育食農の考え・取り組みについて》

- 5月・・・夏野菜を植えよう。（ナス・トマト・キュウリ等）
- 6月・・・たんぼに挑戦（苗床見学・自分たちの力でミニミニたんぼづくり・田植え）  
さつまいもの苗植え・じゃがいも収穫（芋もち作り）
- 7月・8月・・・旬の野菜を食べよう！（自分たちで作ったお野菜はおいしいね。）
- 9月・・・大根の種まきをしよう。（小さな小さな種。大根の間引きって何かな？）
- 10月・・・稲刈りに挑戦（脱穀、粃摺りって何かな？・自分の手で、脱穀・粃摺りを挑戦。）
- 11月・・・さつま芋ほりをしよう！（イモ蔓で遊ぼう・作ろう（なわとび・リース作り等）
- 12月・・・大根ほり（切り干し大根作りに挑戦）  
自分たちで作ったもち米で、おもちつき
- 3月・・・種イモ植え

### 《栄養士よりの指導》（期ごとに幼児クラス対象）

お箸の使い方 食事のマナー 咀嚼の大事さ 命と育ちと食  
別計画表有り

### ○衛生管理

- ・「従業者等の衛生管理点検表」「調理室内の衛生管理チェックリスト表」  
「食品用の衛生管理チェックリスト」を用いて調理従業者による安全点検。
- ・調理室内の衛生に努める。
  - （業者による害虫駆除 年2回）
  - （業者によるグリストラップ掃除 2ヶ月に1回）
  - （ゴキブリ点検を2カ月に1回）
- ・調理済みの食品保管をする。（2週間）

## 18 保護者の費用負担の予定

- \* 延長保育料（延長保育申請者）
  - ・ 利用する延長保育時間30分につき 月額 1,000円  
但し、被保護世帯及び市民税非課税世帯は免
  - ・ 補食台 月額1,500円
  - ・ 日単位延長利用料 30分単位 1回500円
- \* 主食代の徴収（3歳以上に提供する主食代） 月額1,600円
- \* クラスカラー帽子（1,050円・名札（118円）の徴収
- \* 連絡帳 160円
- \* 教材類（3歳以上）クレパス・ハサミ・のり・自由画帳）1,858円

## 19 管理経費縮減の取組計画

- 何事も心がけ次第で、費用の縮減に繋がると考える。
- \* 再利用できる物は使用していく。
  - \* 「無駄にしない」「物を大切に」の意識を持つように心がける。
  - \* エコ対策に心掛ける。冷暖房の温度・まめな節電・節水を心掛ける。
  - \* 手作りできる物は、自分達で試みようの気持ちで臨む。

## 20 施設・設備の修繕計画

- \* 外回りに洗濯機置き場の設置を考え、汚れ物の洗濯の場を設ける。
- \* 外回りにシャワーを取り付け、水遊びの充実に繋げる。
- \* 網戸の網の張り替え。

## 21 備品の購入計画

- \* 水遊びの充実を考え、ビニールプール(大)の購入
- \* 夏祭り行事用に幼児・職員用のはっぴを購入

## 22 業務委託の予定

- ◎ 一般廃棄物・資源ゴミ収集委託  
（有）後藤商事と一般廃棄物及び資源ゴミの収集処理の委託を締結。
- ◎ セコム・セキュリティーサービス  
セコム株式会社とセコム・セキュリティーサービスの契約を結ぶ。
- ◎ 配置医師契約  
社会福祉法人共遊の会理事長「小島澄人」とたくこどもクリニック「橋本卓史」  
医師と児童福祉施設「はじめての一步保育園」の配置医師として契約する。
- ◎ 総合業務顧問契約  
永山社会保険労務士事務所特定社会保険労務士永山悦子氏と契約を結ぶ。

◎三菱エレベーター遠隔点検

三菱電機ビルテクノサービス株式会社と三菱エレベーター遠隔点検  
（機能維持修理付）契約を締結中。

◎腸内細菌検査、

登録衛生検査所 有研（有馬研究所）と委託契約を結ぶ。

◎非常通報装置保守契約

テルウエル東日本株式会社と非常通報装置の保守点検を契約する。

◎火災保険

株式会社損害保険ジャパンと火災保険を契約締結する。

◎賠償責任保険・傷害保険

三井住友海上火災保険株式会社と賠償責任保険・傷害保険契約締結する。

◎UTMセキュリティー

インターネット環境におけるセキュリティー対策強化のシステム導入の為、  
日本メディアシステム株式会社と契約締結する。

# 平成29年度 園外研修計画 一覧表

	園長	事務	養護	乳児保育	幼児教育	障害児保育	食育 アレルギー対応	保健衛生 安全対策	保護者支援 子育て支援	保育実践	マネジメント	他
	小島敦子					5/8障がい児の理解			○	5/11共に育つ力を はぐくむ保育	6/13保育の質を高める 園長のマネジメント 力	
	山邊加美恵											
	青木徳子					6/14,7/5障害児保育の 理解と援助	5/30食べる機能の 発達と支援	○	○			
	加藤はるみ						5/30食べる機能の 発達と支援	○	○		○	
	矢野理恵		○						○		○	
	押川佳子	6/22保育リーダー の役割(乳児)					○		○			
	竹内理彩	7/10 0・1・2歳児 の身体と心の育ち						6/26応急手当の 重要性及び救命 救急処置				
	小倉さよこ	○					○					
	今井ひかる	7/10 0・1・2歳児 の身体と心の育ち						6/23応急手当の 重要性及び救命 救急処置				
	杉本千菜美	7/10 0・1・2歳児 の身体と心の育ち								○		
	堀越久美子			○			○			○		
	森尊章			○								
	後藤健三郎			○		6/14,7/5障害児保 育の理解と援助	○		○		○	
	佐々木美智子	6/22保育リーダー の役割(幼児)				発達相談支援コー ディネーター養成研 修(年6回)			○		○	
	市川めぐみ	○					○			○		

保育士





## 平成29年度 はじめの一步保育園消火避難訓練計画(案)

実施日	担当	訓練内容	内容	避難場所	ねらい
4・24	後藤 矢野	・避難誘導(担任)  ・避難用備蓄品などの確認、補給(反省会時)	地震 ↓ 出火(事務室) 初期消火で 鎮火	保育室→ 廊下	・放送を聞き保育士のそばに集まり、安全な場所に待機する。  ・防災頭巾の着用の仕方を練習する。
5.24	佐々木 市川	・避難誘導(担任)  ・初期消火	火災(給食室) ↓ 初期消火で 鎮火	人工芝	・火災の時の避難の仕方を確認する。 ・避難経路から人工芝へ避難する。
6・26	今井 岡田	同上	地震 ↓ 出火(給食室) ↓ 初期消火で 鎮火	人工芝	・放送を聞き、状況を知り避難をする。 (揺れが収まるまで保育室待機)  ・避難経路をあらかじめ確認する。 ・他クラスとの混乱を防ぐ。
7・21 ※16時以降	はるみ けいこ	同上	地震 ↓ 火災(給食室) ↓ 初期消火で 鎮火	人工芝	・放送を聞き、状況を知り避難をする。 (揺れが収まるまで保育室待機)  ・活動の途中で手を止めて、放送に耳を傾け、落ち着いて避難をする。 ・通常と違う職員配置でも落ち着いて避難を行う。
8・22	竹内 橋田	同上	同上	人工芝	・合同保育等で、普段と異なる保育環境において人数などの確認を行いながら避難を誘導する。
9.1	森 はるみ (後藤)	・夕刻に警戒宣言発令を想定した訓練。 ・災害伝言ダイヤルを用いての保護者への連絡 ・引き渡しの確認	夕刻に通常の避難訓練 ↓ 宣言発令 ↓ 各クラスでの帰宅援護 ↓ 引き渡し	人工芝にて 訓練	・災害時の引き取りについて、保護者の意識を高める。 ・災害伝言ダイヤルによる連絡の方法について確認する。  ・保護者の引き取りを待つ間、子ども達が動揺することなく、安心して過ごせるようにする。
10・17	市川 荻島	・避難誘導(担任) ・初期消火 ・通常避難経路と違う経路での避難	地震 火災(場所不定) 初期消火で 鎮火	人工芝 あゆみ館庭、 常安寺駐車場	・放送を聞き、状況を知り避難をする。 (揺れが収まるまで保育室待機) ・出火場所により、避難経路が変わることを知り、避難経路のパターンについて学ぶ。

11.24 (16時以降)	小倉 矢野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難誘導</li> <li>・初期消火</li> <li>・避難用具備品等の確認、補給(管理者、給食)</li> </ul>	<p>自然火災 (柿の実からの飛び火にて人工芝、園庭が出火)</p>	放送にて、確認。(不定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火元がない所でも出火することを知る。</li> <li>・手があるクラスは積極的に他クラスへの援助にあたる(職員同士声を掛け合う)</li> </ul>
12.11	押川 島田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難誘導</li> <li>・初期消火</li> </ul>	<p>火災 ↓ 避難(人工芝) ↓ 消防車が来るので人工芝から更に移動をする。 ↓ 柿の実園庭</p>	<p>人工芝 ↓ 柿の実園庭 (消防署が来たら、消防職員の指示に従う)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防署職員を招いての総合訓練。 ※別紙作成</li> <li>・(職員)通報訓練を実際に体験する。</li> </ul>
1月25日 予告なし 午前中	森 青木	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間予告なし訓練</li> <li>・避難誘導</li> <li>・初期消火</li> </ul>	<p>地震 ↓ 火災(場所不定) ↓ 初期消火で鎮火</p>	放送にて、確認(不定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・午睡中、戸外活動中など突然の災害に対しても落ち着いて避難待機する。</li> <li>・常勤職員がそろっていない中でも非常勤職員も意識をもって取り組む。</li> </ul>
2月6日 予告なし	杉本 堀越	同上	<p>地震 ↓ 火災(給食室) ↓ 人工芝へ避難するが、初期消火では鎮火出来ず、移動</p>	<p>人工芝 ↓ 場所不定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・午睡中、戸外活動中など突然の災害に対しても落ち着いて避難待機する。</li> <li>・常勤職員がそろっていない中でも非常勤職員も意識をもって取り組む。</li> </ul> <p>初期消火では火の勢いが収まらず、移動する。⇒移動先は当日の様子によって変える。火元の給食室を避けるように避難する。</p>
3月14日 予告なし 16時以降	後藤 時田	<p>同上</p> <p>※反省会時 避難バック中身確認(代表者)</p>	<p>地震 ↓ 火災(場所不定) ↓ 人工芝へ避難するが、初期消火では鎮火出来ず、移動</p>	<p>放送にて確認 ↓ 更に、移動。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期消火では火の勢いが収まらず、移動する。⇒移動先は当日の様子によって変える。火元を避けるように避難する。</li> <li>・保護者も防災に対して意識を高める。</li> </ul>